41 飯田（いいだ）

（長野県飯田市）

注目 ポイント ！

○ 地域の自然･文化歴史･暮らしを活かし、体験観光の先進地へ。

○ 日本初の地域受入れ型の専門旅行会社「㈱南信州観光公社」を設立、観光振興推進。

体験教育旅行がゼロ人から、延べ約46,000人に！
（平成8年）　（平成17年）

よこね田んぼの田植え風景

◇◇ コラム ◇◇

㈱南信州観光公社設立時に支配人に就任後、常に地域受入先を廻り、南信州エリア500戸の農家民泊群のまとめや様々な体験メニューのコーディネート、全国への営業と多方面の活躍により新たなツーリズムの先進地として認知されるようになった。

南信州観光公社
取締役支配人
高橋　充氏

これまでの経緯

平成　7年（1995）	体験教育旅行誘致事業を開始。資源踏査しメニュー開発後、営業活動を開始する。
平成　8年（1996）	高校生自然教室を実施する。
平成10年（1998）	農家民泊の受け入れを開始する。
平成11年（1999）	「南信州こども体験村」がスタートする。（2週間長期体験プログラム）
平成13年（2001）	「㈱南信州観光公社」が設立される。
平成15年（2003）	「第1回オーライ！ニッポン大賞」グランプリ（内閣総理大臣賞）受賞。都市農村交流が総合的に地域活性化につながっている点が高く評価される。
平成16年（2004）	「第1回ほんもの体験フォーラム」が開催される。 エコツアー「桜守の旅」がスタートする。
平成17年（2005）	エコツーリズム全国大会が開催される。 まちなか観光「和菓子探訪の旅」がスタートする。 「第12回優秀観光地づくり賞」金賞（総務大臣賞）受賞。体験プログラムは学校教育という面からも大きな注目を集めていることなどが高く評価される。 「第1回エコツーリズム大賞」優秀賞を受賞する。

※当該地域は「わたしの旅100選」（平成17年）として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

㈱南信州観光公社のとりくみ

「体験型観光振興は、従来の観光資源に乏しい南信州にとって起死回生の一打になる。そのためには、受入のための組織体制を創設する必要がある」と、飯田市は平成11年4月、設立に向け積極的に周辺自治体や民間業者に働きかけ、飯田下伊那の一部の自治体の合意を取り付けるも、関係自治体の観光に対する温度差から時期尚早と判断され、設立は頓挫。しかし全国に先駆けて先行利益を取らなければ意味がないとして、「この指とまれ」方式で5市村と民間の出資によりスタート。現在は飯田下伊那全自治体が出資するまでに。

最近では、第三セクターが地域の生業を体験資源として掘り起こし、農業体験や自然体験等、質の高いプログラムを提供。

このような取り組みが、地域における経済波及効果や集客から体験機会の調整、精算までのシステム構築として評価され、平成17年6月にエコツーリズム大賞優秀賞を受賞。

体験教育旅行

平成8年よりスタートの本事業は、地域の既存施設や環境、産業、人材を最大限に活かし、人と人の交流から訪問者に「飯田のプログラムははずしがない」と言われ、感動を与えている。一般の体験観光や近年では、地域の高校生と台湾高校生の交流も行っている。体験プログラムとして天竜川ラフティング、農家生活体験、農業体験などがある。

体験教育旅行

桜守の旅

桜守の旅（エコツアー）

南信州エリアには樹齢三百年を超える老桜･名桜が点在。これらをネットワーク化し案内人付きで桜巡りを実施。

約一ヶ月は見頃の桜を観賞でき、ライトアップによる夜桜ツアーもある。

従来の群桜型花見から、地域にある一本桜の名桜に視点を変え、内外に好評。年々ツアー客が増加している。

和菓子探訪･歴史探訪の旅

小京都と言われる飯田の市街地は古くからの和菓子店が数多く点在。

ガイド付きで歴史散策と和菓子店を廻る旅が好評。和菓子店の活性化にも寄与している。

最近では桜守にちなんだ菓子も登場。

和菓子探訪の旅

問い合わせ先

○飯田市観光課　Tel：0265－22－4511　http://www.city.iida.nagano.jo
○飯田観光協会（南信州ナビ）　http://www.ii-s.org/
○南信州観光公社　Tel：0265－28－1747　http://www.mis.janis.or.jp/~m-sinsyu/